

男女平等参画について考える 日本女性会議2017とまこまい

北の大地で語ろう
これからの未来の一步を

平成29年10月13日(金)～15日(日)

会場 苫小牧市民会館 ほか



つばさの会 小林 久子
北海道では2回目となる苫小牧での開催。
1日目、内閣府男女共同参画局長武川恵子氏による基調報告。ジェンダー・ギャップ指数は、毎年必ず報告があるが、昨年よりさらに下がって日本は144国中111位とのこと。健康、教育での割合は第1位のアイルランドより高い割合なのに、政治参画の割合が全体平均の半分もないのだ。女性の就業については「子どもができて働き続ける方がよい」という意識が高くなり、全体の割合が初めて50%を越えたと言う。しかし、管理職についてみると政治参画同様国際的にまだまだ低い現状にある。パリテ法やクオータ制などの取り組みもあるが、女性自身が積極的に手を上げなければならないのかもしれない。書家の金澤翔子さんによる特別揮毫の「共に生きる」がロビーに掲示されたが、彼女の自



立した姿と力強いその書は「自力本願の女性の活躍を共に！」と参加者への応援旗となった。2日目は、「平和」の分科会に参加した。14歳のアフガニスタンの少女、沖縄の女子高生、苫小牧の男子高生らによる若い世代のパネルディスカッションであった。戦火で親を亡くし、孤児院で暮らす少女達が日々性暴力から身を守らなければならない現実や、貧困を克服し自立するため音楽を学び演奏活動をする様子を聞き胸が締め付けられた。又、米軍基地問題を抱えた沖縄での、ニュースでは報道されない「授業中断の事実」や「基本的人権・日本国憲法の重み」を訴える彼女らの悲しみや怒りの思いが胸に刺さった。苫小牧の高校生が、「Jアラートが発信されるまで戦争への意識が無かった。沖縄やアフガンの実情もニュースや教科書でしか知らなかった。今後はもっと知る必要がある」と述べたのを受け、平和な未来のために日本ができることを分科会参加者も共に考えた。

日本女性会議

宇都宮の開催から23年
いよいよ来年(2019年)

佐野 でやります
みんなで参加しましょう!!

日本女性会議2019さの
2019年10月25日(金)～27日(日)開催決定!!
佐野から全国へ発信!!

<日本女性会議とは...?>
男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決策を
探るとともに、参加者相互の交流促進や情報のネッ
トワーク化を図ることを目的に開催されています。
第1回は名古屋大会以降全国の市町で開催され、
2018年は石川県金沢市で開催されます。

<佐野市は男女共同参画都市を宣言しています!>
認める 変える 分かち合う
個性がやが参画社会

日本女性会議2019さの実行委員会
事務局 佐野市人権・男女共同参画課
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974-3
TEL:0283-61-1140 FAX:0283-61-1142
Mail:danjokakari@city.sano.lg.jp

編集後記

今回、佐野市人権・男女共同参画課のご協力を得て「日本女性会議2019さの」の案内を載せることができました。県内の開催ということで、今から、待ち遠しいですね。「かがやき」の名のとおり、これからも様々な研修等を積み益々輝きあいましょう。末筆になりましたが、第18号の発行にあたり、原稿をお寄せくださいました皆様に心よりお礼を申し上げます。

編集委員

梅澤 知江 荷見 イツ子
菊地 富士子 廣木 初江
小林 恭子 増渕 さつき
小林 久子

印刷 株式会社 井上総合印刷
電話 028-661-4723

かがやき

芳賀つばさの会



(親子料理教室)

男女共同参画
啓発活動



国際交流



(夏休み学童)

加入団体
活動紹介

主な内容

- 総会
- 視察研修
- 町民のつどい
- 会員研修
- ジェンダー川柳コンクール
- 日本女性会議

芳賀町女性団体連絡協議会では、今年も男女共同参画をテーマに、会員はもとより町民の皆様のご協力により、研修、講演会等を企画し実施して参りました。子ども達に募集しているジェンダー川柳を見ていると、社会を取り巻く現状、そして、家庭生活のひとつまをかいまみることができました。「男だから」「女だから」という考え方にとらわれず、一人ひとりが平等に扱われ、社会活動に共に参画し、共に責任を担っていければいいのではないのでしょうか。

町役場東駐車場内に可憐に咲いている寒緋桜。これは、芳賀町が男女共同参画宣言都市になったことを記念して植樹したものです。花言葉は、「あでやかな美人・善行・高貴」です。これからもずっと私達の目を楽しませてくれることでしょう。

副会長

一年をふりかえって



会長
小山 佳子

平成30年は年の初めから冬季オリンピックでたくさんの感動をいただきました。晴れやかな表情はもちろんです。これまで積み重ねてこられた努力の日々を思うと、胸と目頭が熱くなりました。

芳賀町女性団体連絡協議会の事業も、役員さんの活躍はもとより、携わってくださったたくさんの方々のご協力で、無事に終了することができました。心から感謝申し上げます。

女性団体連絡協議会は団体同士が手をつなぐ会です。情報交換をし、自己研鑽をし、お互いの事業に協力し支え合う会です。一人で出来る事は限られていても、つながることで大きな力になると感じています。

小中学生対象に実施していますジェンダー川柳コンクールは、今年度で6回目になります。初めは事務局の生涯学習課、川柳の会の「梨の実吟社」さんに協力していただきました。さらに、回数を重ねるごとに、教育委員会、商工観光課、芳賀町PTA協議会、地域公民館連絡協議会と協力してくださる団体が増えました。自分達だけでは広げられない情報も、たくさんの方に関わっていただく事で大きく広がっていくことを実感しました。そして子ども達の川柳に関わることで学校とつながり、地域がつながっていくのではないのでしょうか。つながることの大切さを実感した一年でした。これからも団体と団体、人と人をつないでいく事ができたらと思っています。

一年間ありがとうございました。

平成29年度 芳賀町女性団体連絡協議会総会

5月23日(火)町民会館において、石川議長、高津生涯学習課長のご臨席をいただき総会が開催されました。

始めに「芳賀町民の歌」を斉唱し、「芳賀町男女共同参画都市宣言文」を群読しました。「芳賀くらしの会」の岡田順子さんを議長に、円滑な議事進行で無事総会が終了しました。

総会終了後「日本女性会議2016秋田」に参加された福田純子さんと佐藤幸枝さんから研修報告がありました。その後芳賀くらしの会啓発活動の話を行いました。



平成29年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名
会長	小山 佳子	芳賀つばさの会
副会長	福田 純子	芳賀町ひばりの会
〃	小林 久子	芳賀つばさの会
書記	増渕さつき	芳賀くらしの会
〃	豊田 裕章	事務局
会計	石下 篤子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	佐藤 幸枝	芳賀町ひばりの会
理事	菊地富士子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	荒井美代子	J Aはが野芳賀地区女性会
〃	荷見イツ子	芳賀町ひばりの会
〃	関 優子	芳賀くらしの会
〃	小林 恭子	農村生活研究グループ
〃	梅澤 知江	農村生活研究グループ
〃	山崎ひろ子	芳賀つばさの会
監査監事	廣木 初江	芳賀くらしの会
〃	渡部 洋子	農村生活研究グループ

共に活動しませんか

女性団体連絡協議会では加入団体を募集しています。また、それぞれの団体では会員を募っています。他の団体と交流する事により見聞を広げるばかりでなく、語り合える仲間に出会えるはず。町や県の行事や講演会に参加し、社会の動きを感じる事もあります。

一緒にかがやきませんか。

問い合わせ 芳賀町生涯学習課
TEL 028-677-0009

視察研修 ヤクルト工場見学と販売会社訪問 8月30日(水)



●J A女性会 阿久津 博子

8月30日ちょっと不安な天気の中、ヤクルト本社茨城工場と古河ヤクルト販売㈱に行ってきました。宅配を利用しているので、興味深くヤクルトの原液の製造過程などの説明を受けながら見学をしてきました。

古河販売会社では、社員そろって笑顔で迎えていただきました。温かい社風が、ヤクルトレディーさんにも浸透しているのでしょうか、我が家担当の方は、いつも明るく親しみやすく、元気とヤクルトを10年以上も届けてくれています。「社員が、長くいきいきと働けるような環境作り」は会社への信頼と成長に確実につながっていると思います。お土産品も購入でき、すごい熱気で皆さん満足げでした。

女性会の役員を引き受けて間もない私は、不安だらけの参加でしたが、和気あいあいとしたおいしいランチを始め、それぞれの訪問先から記念品と「明日への活力」をいただいて楽しい研修になりました。

●農生研 石下 尚美

ヤクルト茨城工場は猿島郡五霞町にあります。工場はきれいに整備されており、丁寧な対応で案内をして下さいました。他にも工場見学をされている団体がいたようで、ヤクルトへの関心の高さと、身近な食品であることが感じられました。

茨城工場では、数種類のヤクルトの製造をしています。同時に衛生管理・安全安心を重視した中でさまざまな検査が行われていました。私たちはBF-1(ビーエフワン)ヤクルトをいただきながら、ヤクルト創始者であり医学博士代田稔氏の『代田イズム』の説明を伺いました。予防医学や健康長寿のためばかりでなく、誰もが手に入れられる価格で、との想いに手を合わせられました。80年以上も前から人々の健康を願い注いできた発想と情熱、そこから生まれた「毎日飲んですこやかに！」のことがばどおり、ヤクルトは健やかな毎日を送るための食品だそうです。ヤクルト200は乳酸菌が200億個入っており、子どもから高齢の方におすすめ、ヤクルト400は乳酸菌が400億個、働き盛りの方におすすめ、ヤクルト400LTはカロリー控えめになっています。ヤクルト工場見学は、お伝えしきれないほどの学びがあり、まさに「目から鱗」でした。

◎会社概要、商品説明



◎み～んな真剣

(芳賀町女性団体連絡)



小山会長

『音で育む絆』～支えあう絆で

町民の皆様。
毎年よい研修をしています。
来年度も計画致しますので、
どうぞご参加ください。

平成29年度 かがやく町民のつどい
♪♪♪『音で育む絆』♪♪♪
～支えあう絆で織りなす町づくり～

石下有美氏講演会

エレクトーン奏者の石下有美さんをお迎えし、講演を行っていただきます。エレクトーンの演奏を交えながら、家族や地域とのつながりの大切さを語っていただきます。

講師プロフィール
いしおろし ゆみ
石下 有美 氏

宇都宮短期大学附属高等学校音楽科、同短期大学音楽科電子オルガン専攻。
ヤマハシステム講師を経て音楽教室を独立。ブライダル演奏やラウンジ演奏、企業イベント等での演奏からオーケストラとの共演、編曲など幅広く活躍し、その経験と音楽の知識を活かした独自の講演も好評をえている。
現在では栃木県内を中心に全国で講演を通じて、多くの人々に音楽と感動を届けるための現役講演中。

日時 平成30年2月17日 土
10:00~12:00(受付9:30)

会場 芳賀町農業者トレーニング
センター2階研修室
祖母井南1-6-1TEL677-3438

申込方法

- 芳賀町女性団体連絡協議会は各団体毎に出席を取りまとめします。
- 一般参加者も大歓迎です。

申込は不要です。

主催 芳賀町女性団体連絡協議会 後援 芳賀町教育委員会
問い合わせ先 (事務局) 芳賀町民会館 TEL : 028-677-0009

石下 有美 氏プロフィール

- 宇都宮短期大学音楽科電子オルガン専攻卒業。
- ヤマハシステム講師を経て1998年音楽教室を独立。生徒の指導に力を注ぐ一方、子育て支援や学校支援、福祉事業など地域活動にも力を入れている。
- その他ブライダル演奏やラウンジ演奏、企業イベント等での演奏からオーケストラとの共演、編曲など幅広く活躍し、その経験と音楽の知識を生かした独自の講演も好評を得ている。
- 現在は、栃木県内を中心に全国で講演を通じ、多くの人に勇気と感動を届けるために活躍中。



石下先生は、波乱万丈の人生を美しいエレクトーンの演奏に乗せて語って下さいました。

「子どもの頃、家に不審者が侵入してトラウマになってしまった事。そのトラウマを家族の支えと、近所の方々の声掛けや励ましによって克服した事。

隣のおばちゃんが余命いくばくもないとわかった時に「有美ちゃんのエレクトーンが聞きたいから窓開けて弾いてくれないかな」と言われ、泣きながら弾いた事。おばちゃんが亡くなって届かなくなった笑顔と野菜の喪失感。

女の子が生まれて喜んでいて矢先に、夫が難病になってしまった事。タイミング悪く両親も病気になって働き手が無くなってしまった事。そんな時「子育て支援センターで弾いてくれないか」と声をかけてくれた福祉課の職員と「うちの孫に教えて欲しい」と言ってくれた地域のおばちゃん。口コミで生徒さんを集めてくれる地域の人たち。」

先生のお話の中には、地域の愛と絆がいっぱい詰まっていた。

町民のつどい
協議会による町民向け研修会)
織りなす町づくり～

平成30年2月17日(土) 10:00~12:00
芳賀町農業者トレーニングセンター

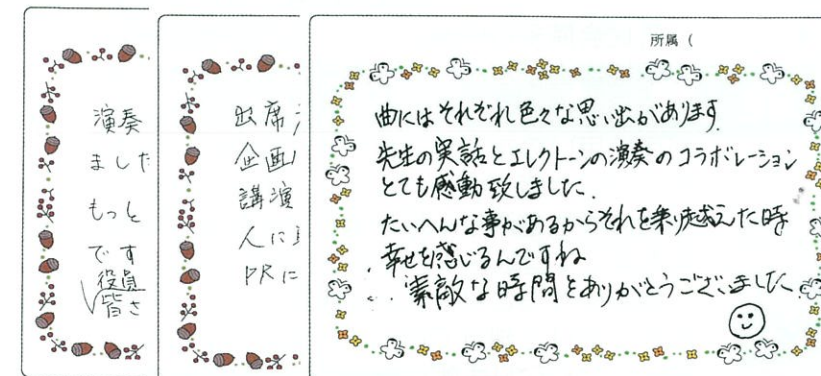


小壕教育長



石川議長

■お寄せ頂きました感想



所属 (JFA女性会)

いろいろな大変なことがあったように見えなくらい
明るく元気な感じの方で、いろいろなお話しに



所屬(くしのかい)

エレクトーンを演奏を聞くのは初めて
です。迫力ある音正直に感じられました。

所属 (つばさの会)

困難な人生を乗り越え、前向きに生きる
姿に感服しました。
地域で支え合う大切も学びました
これからの活動に生かしたいと思います
もっと多勢の人に参加してほしいです



所属 ()

人生にはいろいろな困難があります。か
のりえが叶わねばならぬのか？と
苦悩を繰り返して、自分の人生にもたの
し

所属 ()

何歳晚いても素直に涙でいた。
有美玉の今後の人生話を聞いて涙めるかと思
う。自分も反省し、これからどう頑張っていくか
を話し合おうと思った。参加させていたおき
が、おきとくごい。おき。

研修

11月22日(水)

ハンドメイド ～貼るだけで出来る 手帳カバー作り～



講師：JAはが野女性会

ひばりの会 荷見イツ子

町民会館多目的室にて、JAはが野女性会の菊地富士子さん、石下篤子さんを講師に手帳カバー作りをしました。16名の参加でしたが思い思いの布を持ち寄りどんな物が出来るかワクワク感で始まりました。まず、自分の手帳の寸法を測り、折り返し分・外布・内布等も測って型紙を作る作業から始まりました。

始めの寸法とりで自分に余裕がなかったのかピッタリと測って作ってしまい、ゆとりの部分がなくなり手帳に無理にかぶせてしまう形になっての仕上がりになってしまいました。

それでも何とか出来上がったときは自分なりに満足できました。世界に一つだけのカバー真剣に取り組む楽しい時間を過ごすことが出来ました。



つばさの会 山崎ひろ子

私にとって朝の日課は、手帳でその日の予定を確認、就寝前に手帳をチェック、ちょっとした日記がわりでもあり、今や手帳なしでは考えられない日々です。そんな手帳のカバー作りに参加しました。各自お気に入りの布を持参し、ワクワクの会場でした。

講師はJAはが野の方々と、資料でのやさしく丁寧な説明を受けました。にもかかわらずいざ型紙、布を前にすると「次どうするの？」状態の私でした。会場のあちらこちらからも「センサー」「センサー」ヘルプの声、走り回るJAの方々、和気あいあいの中、思い思いの新しい手帳のカバーが出来上がりました。

カバーの記念撮影、幸せそうな笑顔・笑顔、講師の皆さんありがとうございました。良い年になりそうです。

世界に一つだけの私の手帳

第6回 芳賀町ジェンダー川柳コンクール

主催：芳賀町女性団体連絡協議会

第6回ジェンダー川柳コンクールの作品審査会を、2月2日(金)芳賀町民会館多目的室において実施しました。

審査は、教育委員会から1名、梨の実吟社の方1名、PTA協議会から4名、芳賀町地域公民館連絡協議会から2名ご協力いただき、本団体から3名、合わせて11名で行いました。

本コンクールも6回をむかえ、子ども達の間に「ジェンダー」への意識が身近なものとなれば幸いです。



入賞作品

最優秀賞

助かるわ 母の呪文に 動く父

芳賀東小学校五年 備前 颯月

優秀賞

- ・男女とも 個性大事に 生きる今
- ・それぞれが 認め合いたい 君らしさ
- ・みとめあい 男女の差はなく ひととして
- ・世の中は 男女一緒に 創るもの
- ・あこがれる 母が働く その姿
- ・さらあらい おともみがく おとうさん

芳賀中学校一年 齋藤 玲那
芳賀東小学校五年 佐藤 敬心
芳賀東小学校四年 稲川 愛理
芳賀中学校三年 桑野恵利佳
芳賀北小学校六年 大森 汐葉
芳賀北小学校五年 黒崎 心美

佳作

- ・休みの日 家族みんなで 家事分担
- ・折紙と 料理がじまん ぼくと兄
- ・多様性 互いに違いを 認め合う
- ・分けないで 仕事・給料 家事・育児
- ・性別で 私の人生 決めないで
- ・男女とも 大切なのは 想いやり
- ・性別に まどわされない 生き方を

芳賀東小学校六年 山田 絢暉
芳賀東小学校五年 松本 悠希
芳賀中学校三年 大関 麻椰
芳賀中学校三年 島田 健太
芳賀中学校三年 湯澤 菜摘
芳賀中学校二年 大根田もえ
芳賀南小学校六年 水井 富賀

表彰式



受賞された皆さん



平成30年3月10日(土)

農業者トレーニングセンター
第32回公民館大会にて